

# 第 1 章 実施協議調査団の派遣

## 1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

ドミニカ共和国において、農業生産は国内総生産( G D P )の 12.7%、農家人口は総人口 823 万人のうち 19%に当たる 158 万人( 1998 年 )を占めている。また、総輸出額に占める農産物の割合は 45%を占めており、同国経済・社会における農業の役割は大きい。しかし、ここ数年間の農業人口の減少に伴う耕作面積の減少や既存灌漑施設の老朽化により、農作物の総生産量は必ずしも安定しておらず、単位面積当たりの収量を増加させるための効率的な農業が求められている。特に灌漑農業については、既存灌漑施設が施設自体の老朽化や不適切な水管理のためフル稼働しておらず、灌漑用水不足の問題を引き起こしている。

ドミニカ共和国政府は、継続的な経済発展及び人口増加の結果による国内食糧需要の伸びに対応するため、農業生産の増加を優先政策課題としている。国家社会経済開発戦略のなかの灌漑農業に関する重要方針は、既存灌漑施設の復旧と維持管理、農民への施設移管による水管理システムの改善を促進することとしている。

このような状況下で、水利庁( I N D R H I )は、灌漑施設が既に導入された地域の灌漑効率を高める活動の一環として、灌漑施設維持管理に携わる技術者の能力向上と農家による水管理組織の機能強化を進めてきた。しかし、I N D R H I の不十分な予算と技術者の能力不足により、これまで十分な成果が上がっていないことから、ドミニカ共和国政府は日本国政府に対し、技術者の水管理・灌漑施設維持管理技術の向上と、農家による水管理組織運営の強化を目的としたプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

この要請を受けて国際協力事業団は 1999 年 7 月事前調査を実施し、既存の研修センター、灌漑施設、水利組織の調査、ドミニカ共和国側との協議を通して、要請の背景及び内容、プロジェクトの国家計画における位置づけを把握し、プロジェクトの妥当性を確認した。

さらに、2000 年 2 月短期調査員 6 名を派遣して短期調査を実施し、ボナオ地区現地調査を中心とした研修拠点及びモデルサイトの選定、現地調査、水利庁及び農務省との協議によるプロジェクト活動内容策定に係る情報の収集、参加型ワークショップ実施によるプロジェクト目標、活動分野の確認及び具体的な活動内容の絞り込み、ドミニカ共和国側のプロジェクト実施体制に係る協議などを行った。これらを踏まえて、プロジェクト基本計画(案)を協議・確認し、今後の要調査、検討事項及び留意すべき事項の整理をした。その調査結果及び協議結果は、ミニッツに取りまとめられた。

今般の実施協議調査では、これまでの調査結果に基づき、ドミニカ共和国政府関係者とプロジェクト実施の最終的な協議を行い、討議議事録(Record of Discussions : R / D)並びに暫定実施計画(Tentative Schedule of Implementation : T S I)を含むミニッツを作成し、署名・交

換を行う。

主な調査項目は、以下のとおりである。

- (1) システム開発に係る活動の確認
- (2) ドミニカ共和国側予算措置状況の確認
- (3) プロジェクトの組織的位置づけの確認
- (4) ドミニカ共和国側施設整備計画の確認
- (5) ドミニカ共和国側カウンターパート( C / P )配置の確認
- (6) プロジェクト開始時期及び期間の確認
- (7) 平成 13 年度投入計画
- (8) 日本側プロジェクト基盤整備事業( 現地適用化事業 )の確認
- (9) 水利庁と農務省間の取り決めについて

#### 1 - 2 調査団の構成

担 当	氏 名	所 属
総 括	千賀壽明	農林水産省近畿農政局土地改良技術事務所所長
水管理、 水利組織 / 施設維持管理	田澤裕之	農林水産省東海農政局 木曾川水系土地改良調査管理事務所計画課長
栽 培	千葉 豊	農林水産省農産園芸局野菜振興課課長補佐
協力計画	北野日士	J I C A 農業開発協力部農業技術協力課

1 - 3 調査日程

日順	月日(曜)	行 程	調査内容
1	11/06(月)	成田 ニューヨーク サント・ドミンゴ	移動 (成田 11:00 発 NH010 ニューヨーク 09:15 着 ニューヨーク 15:30 発 AA635 サント・ドミンゴ 20:00 着)
2	11/07(火)	サント・ドミンゴ	10:00 農務省( S E A )表敬 12:00 日本大使館表敬 15:00 J I C A 事務所打合せ 16:30 水利庁( I N D R H I )表敬
3	11/08(水)	サント・ドミンゴ	10:30 大統領府技術庁表敬 13:00 サント・ドミンゴ I N D R H I 旧庁舎プロジェクト事務所調査、C / P 紹介
4	11/09(木)	ボナオ、リンコン	08:00 移動(サント・ドミンゴ ボナオ) 09:30 国立稲作研究所( C E D I A )訪問、意見交換 11:00 国立稲作研修センター( C E N A C A )訪問、研修施設、プロジェクト執務室、専門家宿舎、研修生宿舎、食堂等調査 12:00 リンコンダム水利組合連合体訪問、意見交換、ヒマ川左岸地区実証圃場予定地調査 17:30 移動(リンコン ボナオ サント・ドミンゴ)
5	11/10(金)	ボナオ、リンコン	09:00 団内打合せ 11:00 移動(サント・ドミンゴ ボナオ リンコン) ヒマ川右岸地区、ヒマカム地区調査 17:00 移動(リンコン ボナオ サント・ドミンゴ)
6	11/11(土)	サント・ドミンゴ	10:00 I N D R H I 技術局副長官レイノッソ氏らと本調査団の目的の概要、プロジェクト名称について協議 12:00 団内打合せ
7	11/12(日)	サント・ドミンゴ	09:00 討議議事録( R / D )、ミニッツ打合せ準備 }
8	11/13(月)	サント・ドミンゴ	09:00 R / D、ミニッツ協議 } 17:00
9	11/14(火)	サント・ドミンゴ	09:00 R / D、ミニッツ協議 } 17:00 19:00 I N D R H I 主催レセプション
10	11/15(水)	サント・ドミンゴ	10:00 R / D、ミニッツ署名・交換 11:00 J I C A 事務所報告 12:00 日本大使館報告 13:00 団長主催レセプション
11	11/16(木)	サント・ドミンゴ ニューヨーク	移動 (サント・ドミンゴ 12:45 発 AA588 ニューヨーク 15:42 着)
12	11/17(金)	ニューヨーク	移動 (ニューヨーク 11:00 発 NH009
13	11/18(土)	成田	成田 14:55 着)

## 1 - 4 主要面談者

### (1) 水利庁( I N D R H I )

Silvio Carrasco	長官
Gilberto Reynoso	技術局副長官( プロジェクトダイレクター )
Danilo Cruz	組織 / 研修部部長
Raquel Abreu T.	プロジェクト コーディネーター
Eustacio Rivera Zapata	水管理 C / P
Silverio Susaña	水管理 C / P
Freddis Pérez Trejo	施設維持管理 C / P( operation )
Julio César Garcia	施設維持管理 C / P( operation )
Sonia Merán Mora	施設維持管理 C / P( maintenance )
Gabriel Pérez	施設維持管理 C / P( maintenance )
Gil Mnuel Fernández	水利組織 C / P
Alberto Ramos	水利組織 C / P
Ineko Hodai	栽培 C / P
Quirino Abreu Pérez	栽培 C / P
Santana Campos Gelabert	栽培 C / P
Victor A. González	プロジェクト総務責任者
永 木 隆 介	個別専門家( 灌漑農業開発政策アドバイザー )
José Geraldo Mendez	灌漑部副部長( 永木専門家アシスタント )
品 川 具 博	青年海外協力隊員

### (2) 農務省( S E A )

Eligio Jáquez	大臣
José Fabelo	次官
Julio César Lopez	国立稲作研究所( C E D I A )所長
Vinicio Castillo G.	同 コーディネーター
Freddys Contreras	同 土壌肥料研究員
Jesús M. Rosario	同 植物予防研究員
Omar S. Medina	同 植物予防研究員
松 谷 邦	シニア専門家
Francisca Rosario	国立稲作研修センター( C E N A C A )所長
Jovany Pérez	同 講師

Paula Duarte

同

講師

(3) 大統領府技術庁( Secretariado técnico de la Presidencia )

Julio Enrique Caminero Sanchez 国際協力担当次官

Catherine Abreu 国際協力技術補佐官

羽田 由紀子 個別専門家( 政策アドバイザー )

(4) リンコンダム水利組合連合体( Consejo Directivo Junta de Regante “ Presa Rincón ” )

José Antonio Gil 組合長

Silvio A. Jimenez 副組合長

Fernando Solis 総務

Reyna Amparo 書記

Miguel Santos 財務

Vicente Padilla 組織

Francisco Bianco 広報

(5) 在ドミニカ共和国日本大使館

赤澤 正人 大使

田中 忠重 書記官

(6) J I C A ドミニカ共和国事務所

高橋 臣夫 所長

竹内 淳 次長

白井 宏明 所員

(7) 通訳

玉手 ルリ子( Tamate Ruriko )